

羽村市事業仕分け 議事録

| | |
|----------------------|---|
| 実施日 | 平成 22 年 12 月 11 日（土曜日） |
| 会 場 | 市役所 4 階会議室（第 1 会場） |
| 事業名 | 1 - 5 郷土博物館の管理運営事業 |
| 出席者 （敬称略） | 【コーディネーター】金子憲 【仕分け人】秋山法、指田勇、雨倉壽男、野澤実穂枝 |
| 担当課 | 郷土博物館 |
| 質疑応答 | <p>（仕分け人）施設改修の見積もり額はどのくらいか。</p> <p>（説明者）具体的に実施設計をしていないため、改修費の見積もりはまだわからない。現在、市の公共施設をストックマネジメントとして計画している。博物館についても、その計画の中で今後検討していく。</p> <p>（仕分け人）平成 22 年度に主事職を一人増員した理由はなにか。</p> <p>（説明者）平成 21 年度まで館長として管理職を配置していたが、平成 22 年度から、館長職を教育部長が兼務することとした。館の運営には 3 人が必要なことから、一人増員した。</p> <p>（仕分け人）経費の面からすると、平成 19 年度と同じ体制で運営をすれば、主事職を一人増員せず、同程度の人件費で運営することができると思うが。</p> <p>（説明者）平成 22 年度の主事職の人件費が平成 21 年度に比べて 2 倍近くになっているのは、主事職の再任用職員を一人増員したということである。その代わりに館長職を削減したということである。</p> <p>（仕分け人）館長の廃止と主事職の増員ということではなく、従来どおりの体制はできないのか。</p> <p>（説明者）従来どおりの体制もできるが、人件費を削減するために、この体制にしたということである。</p> <p>（仕分け人）平成 20 年度の報酬額が、平成 19 年度に比べて 2 倍近くに増額しているのはなぜか。</p> <p>（説明者）報酬については、学芸員の報酬である。平成 19 年度までは 2 人体制であったが、平成 20 年度より 3 人体制にしたため増額している。</p> <p>（仕分け人）今までの 2 人体制ではできなかったのか。</p> <p>（説明者）収蔵資料がかなり増えてきており、その整理のため、1 人増員した。</p> <p>（仕分け人）平成 22 年度の委託料が、平成 21 年度に比べて減額しているのはなぜか。</p> <p>（説明者）平成 21 年度は、敷地内にある下田家住宅の燻蒸処理を、東京都の補助金を活用して行った。その金額が、約 500 万円であったため、平成 21 年度は、委託料が増額している。</p> <p>（仕分け人）土日は開館しているのか。また、平成 21 年度の入館者数は</p> |

37,616人であるが、平日と土日の入館者はどのような内訳なのか。

(説明者) 休館日は月曜日で土日も開館している。平成21年度は、大人が20,671人、子どもが16,945人である。平日と土日で集計していないため、内訳は答えられないが、子どもは学校での利用が多いため、平日の来館がほとんどである。

(仕分け人) 団体の入館状況は、市内の利用者が2,393人、市外の利用者が17,810人であるが、市外の利用者が多いのはなぜか。

(説明者) 団体について集計表を分けているのは、小学4年生の学習での利用が多いためである。他市でも小学4年生の学習があるため、市外の利用が多くなっている。

(仕分け人) 個人の利用で、市内と市外はどのような内訳か。

(説明者) 個人の利用については、現在資料がないため答えられない。

(仕分け人) 郷土の文化財を保存するということは、市民の願いであり、市の役割であると思う。どれだけの利用者がいると、施設としての目的を果たせるのか。

(説明者) 昭和60年の開館以来、利用者が一番多かったのは、平成5年で45,836人いた。その後、増えたり減ったりもしているが、現状では40,000人が目標である。

今後の目標は、資料を保管し、後世に伝えることだが、その中でも、これから特に取組んでいかなければならないことは、子どもたちにわかりやすく伝えることであると考えている。そのためにも、学校教育との連携を強化したいと考えている。

(仕分け人) 今年度はどのような企画があったのか。

(説明者) 桜、五月人形、考古学として発掘体験、自然科学を中心とした夏休み子ども向け展示、中里介山の絵画展、正月飾り、むかしの暮らし、雛人形、その他にも、市内の職人に関する資料の展示も行っている。

(仕分け人) 新しい企画もあるが、大まかなものは従来から変わり映えがしないように感じる。ピーク時から約8,000人の入場者が減っているため、目標入場者数を達成するためには、従来どおりの企画であると難しいと思うので、魅力ある博物館の企画が必要だと思う。入館料を取るなどを検討してはどうか。

(説明者) これまでにも有料化を検討したことはある。有料化してはいけないということはないが、利用の実態として子どもが多いことや、大人の利用についても、有料にすると入館者が減少することを懸念している。企画展の充実を図り、魅力ある博物館にするため努力したい。

(仕分け人) 年間3千万円近い事業経費がかかっているが、一人50円でも入場料を徴収すれば、事業費の補てんができると思う。

(説明者) 博物館に限らず、市の公共施設の使用料については、使用料等審議会で決定していくため、博物館の有料化について諮ることを検討して

| | |
|-------------------|--|
| | <p>いきたい。</p> <p>(仕分け人) 土日のみの開館で、平日は団体のみの利用に限定するといった検討をしてもいいのではないか。</p> <p>(説明者) 土日と平日の利用は約 3:2 であり、展示のほかにも業務として多々あるので、土日のみの開館は現状では考えていない。</p> <p>(仕分け人) 曜日や時間帯によって来館者数が異なるので、来館者の利用状況を把握した上で人員配置を考えると人件費などのコスト縮減と効率的な事業運営が可能になるのではないか。たとえば、土日の来館者数が多いならば、土日のみの開館で、平日は小学校の社会科見学の団体利用に限定するなど、開館方法を見直すことで人件費などの経費が削減できるのではないか。</p> <p>また、有料化すると来館者数が減少するのではないかとのご説明があったが、たとえ受益者負担という観点から入館料を徴収したとしても、足を運びたくなるような魅力的な博物館であることが望ましい。</p> <p>博物館は、郷土の歴史を理解する上で大きな役割を果たし、特に教育面など市にとっては重要な施設であることは理解できるので、効果的な PR を行うと同時にコスト縮減の工夫を多面的に検討することによって、より良い施設となることを期待する。</p> |
| <p>判 定</p> | <p>市が実施 事業内容を見直すべきである。</p> <p>【市が実施（改善が必要）5人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば民間委託がいいが、民間委託は難しいと思う。 ・文化財の保護など大切な事業だと思うので、魅力ある企画を考える。 ・歴史の理解や郷土愛の醸成など博物館の果たす役割は大きく、この事業を公共部門である市が実施する必要性は理解できる。しかし、無料であれば来館者が見込めないというような魅力のない博物館であってはならない。 ・社会教育や生涯学習であっても、費用対効果の分析や低コスト化を図る努力は必要である。来館者の利用状況を把握し、コスト縮減と効率的な事業運営を目指すと同時に、適正な受益者負担という観点から、入館料の有料化を含め、事業全体のあり方を再検討して頂きたい。 |